

Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

医療の質・安全学会 第2回学術集会&国際シンポジウム

会期 2007.11.23 (金・祝) ▶ 25 (日) 会場 東京国際フォーラム

会長 上原 鳴夫 東北大学大学院医学系研究科教授 参加費 12,000円

後援 厚生労働省・文部科学省・
日本学術会議(申請中)・日本病院団体協議会・日本医師会・(社)日本看護協会
(社)日本歯科医師会・(社)日本薬剤師会・(社)日本病院薬剤師会・(社)日本放射線技術師会
(社)日本臨床衛生検査技術師会・財団法人医療機能評価機構・(社)日本品質管理学会

23
(金祝)

24
(土)

鼎談

「医療の不確実性と患者安全」



■柳田 邦男氏
(ノンフィクション作家)



■土屋 了介氏
(国立がんセンター中央病院院長)



■福井 次矢氏
(聖路加国際病院院長)

シンポジウム 「岐路に立つ医療—『崩壊』から再建へ」

金子 勝(慶應義塾大学経済学部教授) 小松 秀樹(虎ノ門病院 泌尿器科部長) 他

「世界は今—質・安全の向上をめざす諸外国の取組み」

特別講演 「医療安全のビジョンと戦略」 ステファン・ジェンクス 氏 (米国メテック・メテック・センター上級顧問
コッドマン賞受賞者)

ワークショップ ■ 医療の質保証と“プロフェッション”の役割 ■ 医療事故被害者救済制度のあり方

展示発表と表彰 「質・安全の向上をめざすベストプラクティス—私たちの取組みと工夫」

25
(日)

国際シンポジウム WHO共催・厚生労働省後援

参加費無料 同時通訳あり

“People at the Centre: Reorienting Healthcare in The 21ST Century”

尾身 茂氏 (WHO西太平洋地域事務局長) / リアム・ドナルドソン 卿 (WHO患者安全世界共同行動プログラム議長)

ジョー・ハクネス 氏 (国際患者団体連盟理事長) / アンジェラ・コトラー 氏 (欧州ビッカー研究所所長) 他

- Theme 1. Informed and empowered individuals, families and communities
- Theme 2. Competent and responsive health practitioners
- Theme 3. Effective health care organizations
- Theme 4. Supportive health systems



尾身 茂氏



リアム・ドナルドソン 卿

「新しい医療のかたち」表彰 ■ 紹介 大熊由紀子(国際医療福祉大学)

医療安全推進週間 公開フォーラム (厚生労働省共催)

「みんなで創ろう、私たちの医療—患者・医療者・地域社会の取組み」

本田麻由美(読売新聞) / 岡本左和子(前 ジョンス・ホプキンス大学病院患者代理人) / 前村 聡(日本経済新聞)

デボラ・ホフマン(ゲナ・ファーバーがん研究所 患者と家族のためのセンター) / 赤津晴子(ピッツバーグ大学)

藤井裕志(下関市医療相談窓口) / 伊藤雅治(社団法人全国社会保険協会連合会) 他

「私たちの活動」展